

未来



全労協・郵政産業労働者
ユニオン長崎中郵支部
機関紙・「みらい」
NO. 4387
23年10月3日(火)
Tel・Fax 095-828-1953
文責 支部書記長

お仕事説明会 大盛況？ 協業を見越した大幅雇用を求める

おはようございます。
9月27日、郵政ユニオン長崎中局支部は長中局と「9月期の定例窓口」を行いました。

長中局から説明

- 超勤状況
 - ・8月期は超勤30時間越えの社員はいなかった
 - 今月(9月)も郵便物の減少の影響もあり30時間越えの社員は出ないと予想。
 - ・夏期繁忙期が終了したが、この期間に特別条項の適用はなかった。
- 郵便物などの滞留無し
- 年賀葉書営業
 - ・今年度の主な変更点など

変更点
年賀用切手(63円)の販売期間を翌年9月末まで延長する。

- ・ 昨年同様の施策
- ・ 収入目標の通知・指標の設定(販売枚数の個人指標は設定しない。局にも指標は示されない)
- ・ コンプライアンス研修の実施、臨時出張所の開設について
- ・ 外務社員の携行販売の禁止
- ・ アイキャッチャー着用、の各項目については昨年同様

主な項目

- ・ 立替払いの禁止・勤務時間外販売の禁止・エリア外販売の禁止・金券ショップへの持ち込みの禁止・携行販売の禁止、申込書への住所・氏名記載の徹底など昨年同様



○ヤマト運輸との協業に関して

- ・ 引き受けスケジュールの変更。第一段階の移行割合が20パーセントの予定が12.7パーセントになるなど

ユニオンからの要請と質問など

- 9月8・9日に実施したお仕事説明会の状況
- 組) 応募者数と内務・外務など応募職種ごとの内訳は
- 組) 応募者総数64名。内務37名、外務15名。どちらでも可など12名
- 組) 各職種の採用予定数は
- 組) 内務6名、外務9名(一集3名、二集1名、三集1名、集荷センター2名、深堀・三和の両集配センター各1名)
- 組) 採用は短期ではなくて長期雇用と考えてよいのか
- 組) 長期雇用

○ヤマト運輸との協業について

- 組) 長中局における10月2日からの第一段階でのクロネコゆうパケット(ネコポス)の一日当たりの増加数は
- 組) 約200個(週の平均)。一区当たり1〜2個
- 組) 増加するゆうパケット対策としての増配置計画は
- 組) 段階ごとに集配オペレーションを検証しながら検討する。第一段階

では土日祝日も含め増配置計画はない

組) ゆうパケット増加数に見合う適正要員配置を行うこと

組) 先日ヤマト運輸が「3万人委託終了」と発表した。それに関連して長中局に応募などの問い合わせがあったか否か

組) 問い合わせはない



○年賀葉書営業について

組) 自爆営業行為が起きないように管理者・役職者への指導を徹底すること

組) コンプライアンス

研修を受けた管理者が、社員に対してコンプライアンス研修を実施する。不適正営業のないように取り組む

組) 今年も長中局エリアのみの営業と理解してよいのか

組) エリア内営業

組) エリア外の年賀状印刷の取扱いは

組) エリア外について
の取り扱いができない。

コンプライアンス研修の際に取り扱いについて研修を行う

組) (現行の黒色携帯端末機に変わる)ポスタルモバイル端末について

組) 10月10日以降訓練開始となっているが、長中局での訓練スケジュールは

組) 具体的なスケジュールはまだ示せない。ポスタルモバイルは来年2月1日から運用予定

ポスタルモバイル端末の研修に関して組合から申し入れた事項

①研修は、11月上旬までには最低一人一回は受けるようにすること。

特に中勤・夜勤がメインの社員について、正規の勤務前に前超勤での研修時間を確保すること

②研修は端末を2台使用し流れる動画を見ながら操作・手順を習得する形と聞く。電子機器操作が苦手な社員には手厚い研修を行うこと

③夏の健康診断の割り当て表のような研修スケジュール表を作り、研修漏れのないようにチェック体制を整えてほしい



仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。

期間雇用社員の希望を全員の正社員化を。ゆえに、均等待遇を。なにより差別。ユニオンは労基法裁判に勝利した。